

鉄鋼標準試料委員会ニュース

No. 5

I. 試料入庫状況

- 1) 昭和47年12月入庫 110-3, 111-5 (鋳物鉄)
 2) 昭和48年1月入庫予定 680-1, 680-2 (以上インコロイ 800 相当), 683-1 (インコネル 600 相当),
 860-1 (マンガン鉱石) 870-1 (クロム鉱石)
 以上新製品 509-3 (強靱鋼)
 けい光X線分析用標準試料 (166 種1組)

II. 新製品試料分析値解析一覧表

JSS No	元素	標準値	$\sigma\bar{x}$	分析所数
680-1 耐熱超合金シリーズ	C	0.070	0.0016	9
	Si	0.52	0.008	9
	Mn	1.37	0.025	11
	P	0.012	0.0010	11
	S	0.006	0.00054	9
	Cu	0.020	0.0008	11
	Ni	32.44	0.109	11
	Cr	20.99	0.042	10
	Fe	—	0.090	9
	Co	0.29	0.009	11
	Ti	0.28	0.011	11
Al	0.30	0.006	11	
680-2 耐熱超合金シリーズ	C	0.046	0.0015	11
	Si	0.46	0.0081	11
	Mn	1.02	0.017	11
	P	0.016	0.00082	10
	S	0.21	0.00063	10
	Cu	0.21	0.0027	11
	Ni	31.61	0.0997	11
	Cr	20.81	0.055	11
	Fe	—	0.135	10
	Co	0.40	0.011	11
	Ti	0.40	0.010	10
Al	0.53	0.012	9	
683-1 耐熱超合金シリーズ	C	0.055	0.0017	10
	Si	0.41	0.0120	10
	Mn	0.31	0.011	11
	P	0.008	0.0005	10
	S	0.004	0.0008	9
	Cu	0.070	0.0023	10
	Ni	74.22	0.095	10
	Cr	16.04	0.050	10
	Fe	8.42	0.073	11
	Co	0.14	0.006	11
	Ti	0.18	0.012	11
Al	0.10	0.007	11	

JSS No	元素	標準値	$\sigma\bar{x}$	分析所数
860-1 (マンガン鉱石)	CW	2.52	0.133	8
	Mn	37.64	0.139	8
	O	8.94	0.041	10
	Fe	18.76	0.042	7
	SiO ₂	10.29	0.108	10
	P	0.065	0.0011	7
	S	0.005	0.0017	8
	Al ₂ O ₃	0.95	0.037	8
	CaO	0.16	0.029	6
	870-1 (クロム鉱石)	Cr ₂ O ₃	49.01	0.107
Fe		14.33	0.061	6
SiO ₂		2.93	0.102	9
MgO		15.06	0.201	6
Al ₂ O ₃		12.05	0.046	7
P		0.002	0.00058	9
S		0.068	0.00198	9

III. 分析成績表標準値正誤差

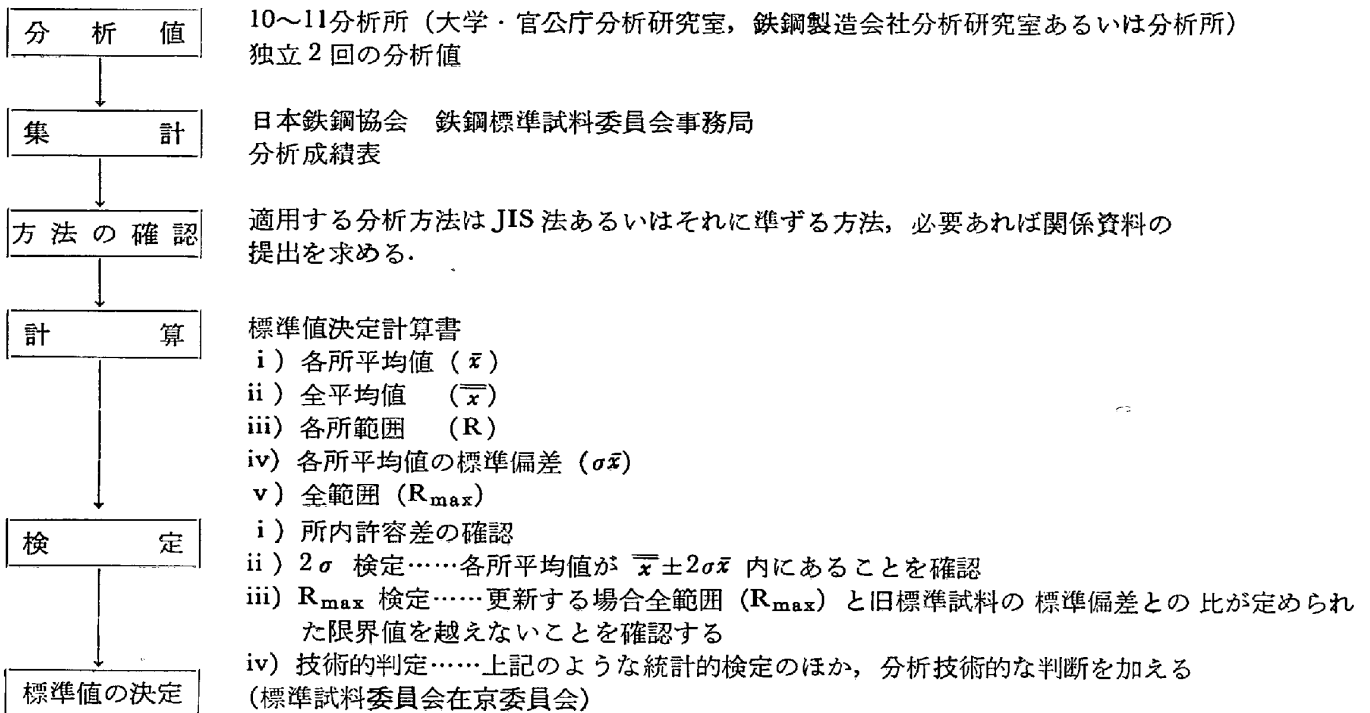
List No	JSS No	品名	成分	原文	訂正文
40	850-1	マルコナ鉄鉱石	S	0.018	0.017
125	610-2	高速度鋼	Cr	4.36	4.37
153	164-1	標準化用合金鋼	Cr	0.013	0.014
154	165-1	標準化用合金鋼	B	0.0011	0.0012
164	440-5	普通鋼	Si	0.24	0.25
165	460-5	普通鋼	Cu	0.083	0.084
186	154-3	検量線 5	P	0.015	0.014
201	156-2	微量元素	P	0.002	0.003
202	157-2	微量元素	Si	0.20	0.21
206	161-1	微量元素	Sn	0.014	0.015

IV. 技術解説 標準値はどのようにして決定されるか

日本鉄鋼標準試料の標準値の決定方法については、鉄鋼標準試料委員会内規第5章第15条に基づきのように決定してあります。

「標準値の決定は細則7 (標準値の決定方法) により原則として在京委員会で行なう」

そこで、その細則7 (昭和47年11月6日改定) を使用者の皆様方にご紹介し、日本鉄鋼標準試料の理解を深めていただく一助にいたしたいと思います。



分析成績表に示してある平均値 (Average) は上記の各種検定の結果棄却されたデータを外して算術平均を求めたものである。

「鉄と鋼」特集号 “圧延技術の進歩” 原稿募集のお知らせ

「鉄と鋼」では “圧延技術の進歩” をテーマに下記により特集号を発行することになりました。内容は各種鋼材の圧延技術の進歩, 矯正, 剪断, 熱処理制御などの周辺技術ならびに圧延理論に関するものを含みます。これらの内容に関連ある最近の研究および技術報告を募集いたします。ふるってご投稿下さるようご案内いたします。

記

1. テーマ: 圧延技術の進歩
2. 投稿締切日: 昭和 48 年 3 月 31 日 (土)
3. 発行予定: 「鉄と鋼」第 59 年第 13 号 (昭和 48 年 11 月号)
4. 原稿送付先: 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
(社) 日本鉄鋼協会 編集課 (Tel. 03-279-6021)